
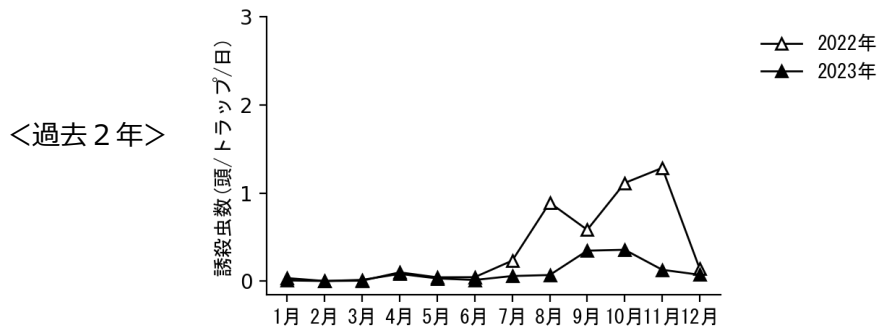
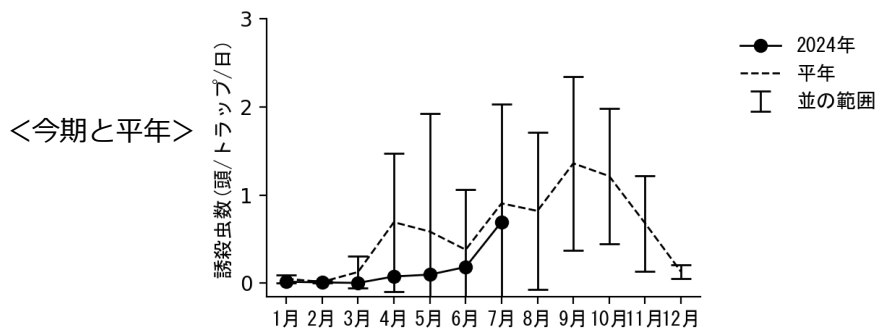


作物	マンゴー	地域	八重山群島
病害虫名	チャノキイロアザミウマ		
調査結果	7 月の発生量 (平年比)	並	
予 報	7 月からの増減傾向	→	
	8 月の発生量 (平年比)	並	
予報の根拠		平年の発生量の推移 (→)	

調査結果

トラップ当たり誘殺虫数の推移




・発生施設率40.0% (平年 : 75.5%)

防除のポイント

- ・不要な新梢は本種の発生を助長するので、早い時期に除去する。
- ・コミカンソウ類など、発生源となる施設内外の雑草を除去する。
- ・収穫期に発生が多かった施設では、せん定終了後に薬剤による防除を行う。
- ・薬剤抵抗性を発達させやすいので、同系統薬剤の連用を避ける。

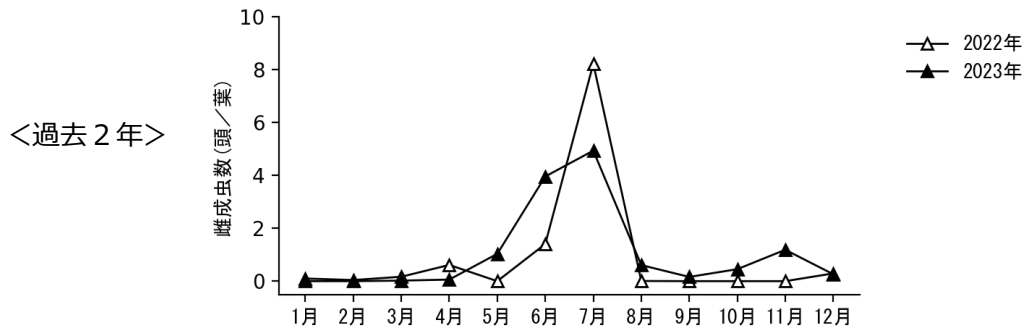
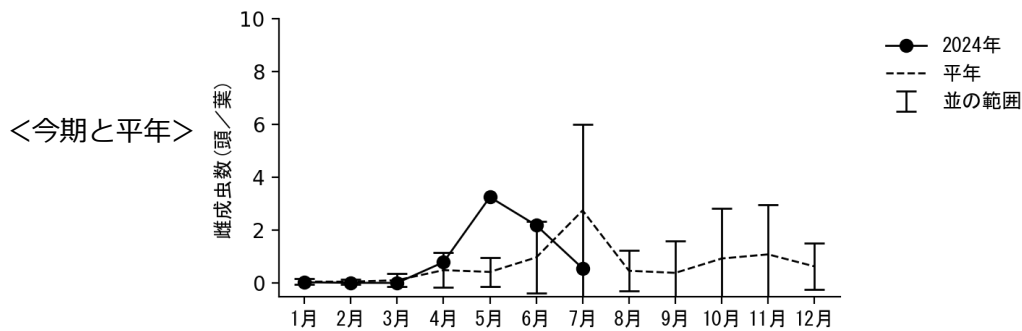


ナガエコミカンソウ

作物	マンゴー	地域	八重山群島
病害虫名	① ハダニ類		
調査結果	7 月の発生量 (平年比)	並	
予報	7 月からの増減傾向	↘	
	8 月の発生量 (平年比)	並	
予報の根拠		平年の発生量の推移 (↘)	

調査結果

雌成虫数の推移



- ・発生種：シュレイツメハダニ
- ・発生施設率60.0% (平年：42.9%)

防除のポイント


- ・収穫終了後の防除を徹底する。
- ・薬剤抵抗性を発達させやすいので、同系統薬剤の連用を避ける。



ハダニの寄生による葉のかすれ症状

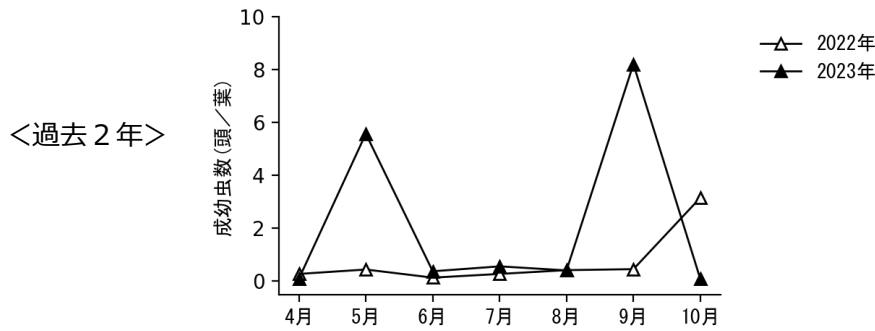
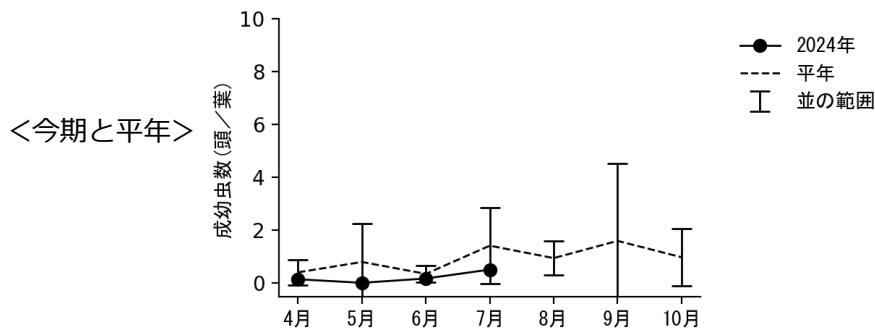


マンゴーツメハダニ

作物	オクラ		地域	八重山群島
病害虫名	① フタテンミドリヒメヨコバイ		 成虫	
調査結果	7 月の発生量 (平年比)	並		
予報	7 月からの増減傾向	↘		
	8 月の発生量 (平年比)	やや少		
予報の根拠		平年の発生量の推移 (↘)		

調査結果

成幼虫数の推移



・発生ほ場率100% (平年 : 72.2%)

防除のポイント

・多発すると被害葉は黄変萎縮するので、葉裏を観察し、早期発見・防除に努める。

